



令和2年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【星が丘地区】

令和3年3月31日現在

| 団体名 | 事業等の名称 | 事業の概要 (申請時) | | | 交付決定 年月日 | 事業予算(単位:円) | | |
|-------------------------|--|---|---|--|-------------|------------|-----------|-----------|
| | | 事業の背景 | 事業の目的 | 事業の内容 | | 全体額 | 申請額 | 交付金額 |
| 1 星が丘地区自治会連合会 | 星が丘地区「新型コロナウイルス感染症拡大に備えた自治会における感染症対策等推進事業」 | 新型コロナウイルス感染症について、今後、第二波・第三波の流行が危惧される中、日常生活における「新しい生活様式」の実践が強く求められている。これは地域のコミュニティ活動の中核を担う自治会活動においても例外ではなく、コロナ禍で人と人の繋がりの希薄化が懸念される状況において、ウィズコロナ、アフターコロナ環境下でも安心して自治会活動を行える備えが急務となっている。 | 自治会活動における感染症対策に資する物品の用意や地域住民への「新しい生活様式」等の周知・啓発を通じて、今後懸念される第二波・第三波に備えた感染拡大の防止を図るとともに、「新しい生活様式」を踏まえた自治会活動の継続・充実を図ることを目的とする。 | ・星が丘地区自治会連合会及び地区内14自治会に、自治会活動における「新しい生活様式」の導入に必要な感染症対策物品の配備を行う。 ・「新しい生活様式」の実践と、コロナ禍の防災対策に関するチラシを作成し、自治会加入世帯へ配布することで、地域住民への周知・啓発を行う。 | R2.8.31 | 470,000 | 470,000 | 470,000 |
| 2 星が丘周辺の地図を作成しその活用を進める会 | 星が丘とその周辺地域を探検・散策するマップの作成 | この地域では、これまでに星が丘地域の歴史や情報を収集し、冊子やカルタにまとめて地域の人に広めたり、次世代に伝える活動を進めてきた。これらの情報を地図に表すことにより、実際に地域を探検・散策したいと思っている人の役にたつものを提供したい。 | これまで集めた地域の歴史や情報を地図という形で表すことにより、この地図を持って地域を歩き回り、探検し、散策できるようにしたい。また、数種の散策コース等も設定し、『みんなで探ろう地域の歴史』等のイベントも実施し、健康作りに役立つとともに、地域に対する興味を上げ、様々な世代がまちづくりへの関心を持つことに繋げる。 | 星が丘地域とその周辺の歴史や様々な情報を表したA1判の地図を5,000部作成する。 地図の裏面には、その地点の写真や説明を記し、地域を理解することができるようにする。 地図を頼りにこの地域を歩き回る人が増え、健康作りに役立つと共に、地域を探索するイベント等も企画・実施していきたい。 企画・編集は当会で進めるが、まちづくり会議の皆さんの意見を聞きながら進め、まちづくり会議と協力して発行する。 マップは自治会加入世帯(約3700世帯)へ全戸配布する。その他希望者へは随時配布し、自治会未加入者へは自治会加入パンフレットと併せて渡す。 | R2.9.14 | 681,000 | 681,000 | 681,000 |
| 3 星が丘地区自治会連合会 | 星が丘地区飲酒運転根絶事業 | 飲酒運転は、重大事故に直結し、運転者本人だけでなく、被害者やその家族の人生をも大きく狂わせる極めて忌むべき行為だが、いまだ後を絶たない。全国的に減少傾向が続いていたものの、近年では減少幅が縮小しており、星が丘地区においても根絶には至っていない状況にある。 | 悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転根絶に向け、地域の交通安全意識の高揚を図り、コロナ禍で自宅の近隣で飲酒をし事故が多発するのを防ぐため、注意喚起を促す。飲酒運転を「しない・させない・ゆるさない」という環境づくりの推進を目的とする。 | 飲酒運転根絶のための啓発のぼりを作成し、星が丘地区の自治会館や公民館等へ掲出するとともに、交通安全キャンペーン等で活用し、広報周知を図る。 | R3.3.3 | 47,000 | 47,000 | 47,000 |
| | | | | | | 1,198,000 | 1,198,000 | 1,198,000 |